

2017 年度後期 立命館アジア太平洋大学 交流学生募集要項

立命館大学と立命館アジア太平洋大学（ＡＰＵ）は、双方の教育を活かし、両大学における教育の一層の充実を図ることを目的としています。

交流学生プログラムは、立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）に半年あるいは１年間「特別聴講生（交流学生）」として授業科目の受講および単位の取得ができる制度です（後期派遣は半年のみ）。立命館アジア太平洋大学での勉学および学生交流を通じて、皆さんの多様な学問的好奇心に応えることができるプログラムとなっています。

この期間は在学期間に算入され、取得した単位は、基本的に本学の所属する学部において認定され、卒業に必要な単位として算入されます。

I. プログラム概要

1. 本プログラムの目的

- （１）双方の教育資源を活かし、両大学における教育内容の一層の充実
- （２）双方の学生交流の促進

2. 期待される APU での学習効果

- （１）英語で行われる授業の履修を通じた英語力向上やプレゼンテーション能力向上
- （２）国際学生との交流を通じた他国の文化や考え方を理解する力の向上
- （３）上記の能力向上により海外留学の準備

3. 派遣期間

後期セメスター（2017 年 9 月 26 日～2018 年 3 月 31 日）

4. 募集人数

最大 10 名

5. 派遣先学部

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）

6. APU での身分

特別聴講学生

7. 単位認定

単位取得した科目のみ以下の通り N 評価で認定します。（F 評価は認定しない）

- ・同一内容と認められる科目については、所属大学の設置科目の単位として認定（N）。
- ・同一内容と認められない科目については、教養科目（基礎科目、基礎教育科目）、専門科目（演習含む）とも、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定（N）。

8. 単位認定の上限

APUでの登録単位数と立命館大学で認定される単位数には以下の通り上限があります。

派遣期間	APUでの受講登録上限単位数	立命館大学での単位認定上限単位数
後期	最大で所属学部・回生の 受講登録上限単位数の半数	60単位以内 ※

※ 単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、海外留学、入学前単位認定など他大学で認定された単位数を含んで60単位以内です（編入学、転学等を除く）。特に、過去に海外留学を終えて単位を認定されたことのある方は注意をしてください。

9. 学費

学費については、通常どおり立命館大学に納付することになります。また、社会人学生授業料納入特例措置を受けている場合については、継続して特例措置を受けることができます。

10. 履修可能科目

アジア太平洋学部（APS）または、国際経営学部（APM）の2011年度カリキュラムの科目が履修可能です。基本的にはすべての開講科目が履修できますが、受講定員や到達度編成による受講の前提条件がある場合などについて、以下の通り、履修科目登録に制限があります。

【履修制限科目】

- ◆ 外国語科目（英語含む）
外国語科目（英語含む）は履修できない場合があります。外国語科目（英語含む）は本学で学ぶことを前提とし、APUでは英語で開講される専門科目の履修を推奨します。
- ◆ 当該学生の母語である言語科目
履修不可
- ◆ 英語で開講される専門科目の受講
英語で開講される専門科目を受講する場合は、以下の基準相当以上の言語運用能力が要求されます。
 - ① TOEFL-PBT®テスト 500点（ITPも可）
 - ② TOEFL-iBT®テスト 61点
 - ③ TOEFL-CBT®テスト 173点
 - ④ TOEIC®テスト 587点（IPも可）
 - ⑤ 国連英検 B級
 - ⑥ IELTS™ 5.5
 - ⑦ VELC® 693点
- ◆ セッション科目（集中講義）
冬セッションが受講できます。

出願にあたっては、立命館アジア太平洋大学の情報を立命館アジア太平洋大学のホームページ【<http://www.apu.ac.jp>】で参照できます。なお、履修希望の科目シラバスは、

履修ハンドブック【<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0260.html/>】

[目次 2. カリキュラムの 2011 年度カリキュラム開講科目一覧 (PDF96 ページから 106 ページ)]を確認の上、履修希望の科目名称のリンク

【<https://portal2.apu.ac.jp/campus/slbsskgr.do>】に入力し、確認してください。

その上、これらの情報をもとに、履修希望科目について各自、検討してください。

1 1. 住居

立命館アジア太平洋大学の学生寮（APハウスⅢ）を利用できます。

寮費は、下表の通りです。

寮費は派遣開始前に、一括で納入（振込）していただく予定です。

APハウス3はオフキャンパスにある学生寮です。APUまでバスで10分、亀川商店街まで約5分のところに位置しています。管理人も24時間常駐しており、皆さんの安心・安全にも配慮した学生寮となっています。

〒874-0013 別府市古市町 25 組

＜最寄りバス停＞ 関ノ江海水浴場前 徒歩 5 分 ※マルショク関ノ江店 徒歩 8 分

	後期派遣学生寮費
9 月分（半月分*）	17,500 円
10 月分	35,000 円
11 月分	35,000 円
12 月分	35,000 円
1 月分	35,000 円
2 月分（半月分*）	17,500 円
合計	175,000 円

* 毎月の 15 日を退寮日としています。退寮する月に 15 日を過ぎてから退寮した場合は、1 ヶ月分の寮費が必要となります。注意してください。

1 2. 奨学金等

「海外留学チャレンジ奨学金」

本プログラム派遣者のうち申請した方で、要件を満たす方全員に「海外留学チャレンジ奨学金」を支給します。本奨学金は、プログラム参加費用の一部を支援することにより、プログラムへの参加・修了を奨励することを目的としています。

給付額：後期派遣（1 学期）は合計 15 万円

募集案内の配付：派遣者ガイダンス

支給時期：2017 年 10 月末に振込予定

1 3. APUでの学生サービス

図書館、課外活動、生協の利用等の学生サービスについては、原則として、立命館アジア太平洋大学学生と同様の取り扱いとなります。（APU 生協では、立命館大学生協の IC カードは利用できません。）

14. 辞退

許可発表後の辞退は認められません。

II. 出願について

1. 出願資格

以下の①～⑤の条件を満たすこと。

- ① 法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、経済学部、理工学部、スポーツ健康科学部、生命科学部、薬学部、経営学部、政策科学部の所属学生であること。
- ② 国内交流派遣の開始時までになくとも1学年の学修を終了していること。
ただし、派遣時において卒業該当回生でないこと。
- ③ 修得単位数が、出願時点までに学修が終了している在学学期×16単位以上であること。
- ④ 出願時点までに配当されている「卒業に必要な外国語科目」を全て修得していること。
- ⑤ 既に本プログラムに派遣されたことがある者は、出願できない。

【注意】

- ※ 出願書類不備がある場合は、一切受け付けません。
- ※ 留学中、休学中の場合でも出願可能ですが、面接などの必要な手続を行えることが条件です。（選考の際に電話面接等の特別な措置は行いません）

2. 出願期間

5月15日（月）～5月26日（金）17:00【厳守】

3. 出願書類提出先

所属学部事務室（衣笠・BKC）、OIC学びステーション（OIC）

4. 提出書類

- ⑥ APU 交流学生出願票
- ⑦ 父母（保証人）の同意書
- ⑧ 成績通知表の写しまたは CAMPUS WEB [成績情報（照会）]画面コピー
- ⑨ 個人別時間割表の写しまたは CAMPUS WEB「My 時間割」画面コピー
- ⑩ 言語運用能力を示す書類（TOEFL-ITP®テスト、TOEIC®テスト、国連英検、IELTS™、英検）の写し

※スコアをなくした場合は、出願票の「学内受験 TOEFL-ITP®テスト/TOEIC®テストスコア紛失」にチェックして提出してください。学内で団体受験をした最新の TOEFL-ITP®テスト/TOEIC®テストスコアが選考の際に使用されます。

※③、④記載の CAMPUS WEB 画面コピーの際には推奨ブラウザを使用した上で、右クリックまたはショートカットキーで印刷してください。

5. 選考

所属学部において、志望理由書、言語運用能力、GPA および面接によって選考します。面接の日程については所属学部より本人宛に連絡します。

6. 許可者発表

発表日時：7月5日（水）13:00

発表場所：CAMPUS WEB【Web 掲示板】[個人]通知ページにて発表

7. 派遣者ガイダンス

派遣許可者は以下のガイダンスに必ず出席する必要があります。原則として欠席は認めません。

日時：7月12日（水）18:10 ～（予定）

場所：衣笠キャンパス

※場所詳細は、許可者にのみ別途通知

8. 出願にあたっての注意

ほかに履修しているプログラム等がありましたら、必ず、応募前にそのプログラムを管轄する事務室で交流を希望している期間の履修について、確認を行ってください。特に、下記2つのプログラムとの両立については、十分な履修計画が必要となりますので、事前に所属学部事務室およびプログラムを管轄する事務室にご相談ください。

【教職課程履修者】

回生ごとに履修しなければならない必須科目（介護等体験や学校実践研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、教育実習等の教職基礎科目）が配置されています。APU交流中は、教職課程の科目を受講することができません。必ず、教職支援センターで、交流を希望する期間の履修について確認をしてください。

<問い合わせ>

衣笠キャンパス至徳館4F 教務課（APU交流担当）

E-mail: apu-tank@st.ritsumeit.ac.jp

TEL: 075-465-8310